
夢路往還
～ふたつめの世界で、
もうひとつの人生を暮らす～

01 GAME CONCEPT

もうひとつの人生を「暮らす」ゲーム

現実に少し疲れた夜。
眠った先には「夢路」がある。

そこでは街を歩き、釣りをし、買い物をする。
何もせず、ひとりで過ごす日があってもいい。

選んだ過ごし方と偶然の出会いから、
自分だけの「もうひとつの日常」が生まれる。



生活・交流型オープンワールド

02 THREE EXPERIENCES

「夢路往還」をつくる、3つの体験

01

暮らす



買い物や釣りを楽しむ。
その日したいことを選んで、
自由に過ごす。

02

出会う



住人にも日常がある。
生活が偶然重なることで、
思いがけない物語が生まれる。

03

ふたつの世界を生きる



現実と夢路を行き来する。
別々だったふたつの日常が、
少しずつ繋がっていく。

03 A DAY IN YUMEJI

「今日は何をする？」から、
もうひとつの一日が始まる



眠った先で、
その日の過ごし方を
自分で選ぶ。

街へ出る。海辺で過ごす。
気になる場所に寄り道する。
思いがけない出会いもある。

夢路での過ごし方

その日したいことを選び、気の向くままに過ごす。

探索	知らない路地や海辺を歩き、気になる場所を見つける。
買い物・収集	店に立ち寄り、気に入ったものを探して集める。
釣り	港で糸を垂らし、景色を眺めながら過ごす。
写真	見つけた風景を撮り、自分だけの一日を残す。

住人にも、それぞれの人生がある

プレイヤーが見ていない間も、ふたりは夢路で日常を送る。

女の子



夢路ではラフな服で街を歩く、
少し面白い女の子。

おじいさん



夢路では仲間とゲートボールを楽しむ、
元気なおじいさん。

06 IN THE REAL WORLD

現実で見つけた、夢路のふたり

夢路で出会ったふたりの姿を、現実でも見つける。

女の子



街のステージで、彼女が
アイドルとして踊っていた。

おじいさん



祖母の家で見つけた古い写真に、
夢路のおじいさんによく似た人がいた。

夢路は、現実と繋がっている？

現実での発見から、夢路の住人について新たな疑問が生まれる。

女の子の記憶



「今日、あなたを
見かけた気がする」

夢路の彼女も、現実のステージで
プレイヤーを見ていたのだろうか。

おじいさんの過去



「この人は、私の父よ」

祖母の父は、すでに亡くなっていた。
それでも夢路では、元気に暮らしている。

08 PLAY & DISCOVERY

遊びを重ねる理由

自由な一日の積み重ねが、住人と世界の物語を開いていく。

01 探索・撮影



時間で変わる街を歩き、
気になる景色を撮る。

→ 新しい場所・出会いへ

02 買い物・収集



小物やカードを集めると、住人にまつわる出来事が開く。

→ 住人のエピソードへ

03 心のもやもや



敵（心のもやもや）とバトルし、物語を進める。

→ 次の手がかりへ

09 THE HEART OF YUMEJI

目覚めたあとも、物語は続く



眠るたび、もうひとつの人生が始まる。

暮らし、出会い、目覚めた世界へ物語を持ち帰るオープンワールド。